

プレ・コンGRES・ツアー

2018年3月21～25日

ブルターニュ（フランス）

3月21日(水曜日)

ブレスト・キパバ空港に午後到着

ホテルに移動

午後自由行動

3月22日(木曜日)

08:00 ホテル出発（3つのグループ）

第1グループ

09:00 プルガステイユ（Plougastel）のラメジェック夫妻の庭園訪問

10:30 ブレストの国立植物園温室見学

第2グループ

09:00 ブレスト市の城、波止場訪問

10:30 プルガステイユ（Plougastel）のラメジェック夫妻の庭園訪問

第3グループ

09:00 ブレストの国立植物園温室見学

11:00 プルガステイユ（Plougastel）のラメジェック夫妻の庭園訪問

12:30 ブレスト港で昼食（参加費に含む）

14:00 ブレスト港を出発

14:30 ミリザック（Milizac）のシャペル夫妻の庭園訪問

16:30 ギブロンベル（Guiplonvel）のスタリニュー養樹園訪問

18:15 プルゴブラン（Plougouelin）のサン・マテュー（Saint-Mathieu）岬に向かい出
発：ここはフランスの最西端で、灯台、僧院の遺跡と手旗信号機がある

19:30 サン・マテュー岬のレストランで歓迎夕食会（費用は参加費に含まれる）

3月23日(金曜日)

08:00 ホテルを出発

09:00 プルイニュ（Plouigneau）のルエ養樹園訪問

10:30 ギンガンブ（Guingamp）のルモール夫妻の国際優秀つばき園を訪問

13:00 ギンガンブのツバキ協会の招待で昼食（ソバのパンケーキとクレープ）

15:00 トレダルジェク（Trédarzac）のケルダロ公園に向けて出発

18:00 ブレストに向けて出発

19:00 ホテルに帰着、夕刻は自由行動

3月24日（土曜日）

- 8:00 ホテルを出発
- 09:00 エリオ・フィエンセリ（Heriot Fiencerie）（1690年からのファイアンス陶器）
見学
- 10:00 カンペール（Quimper）市訪問、城塞で囲まれた町の中にあるリトリート庭園
「Jardin de la Retraite」見学
- 12:00 昼食（参加費に含まれない）
- 13:30 ブリエク（Briec）に向けて出発
- 14:00 ブリエクのマリ・テレーズ・ブローゼン庭園訪問（ブルターニュの音楽バンド）「ソ
ヌール（Sonneurs）」による歓迎演奏
- 16:00 サン・ゴアゼック（Saint-Goazec）の国際優秀つばき園、ドメヌヌ・ド・トレバ
レス（Domanie de Trevarez）（ツバキ展）訪問
- 19:00 シャトーヌフ・ドウ・ファオ（Chateauneuf du Faou）のブルターニュのツバキ
品種コレクション見学
- 19:30 シャトーヌフ・ドウ・ファオでサヨナラ・パーティ（参加費を含む）

3月25日（日曜日）

- 09:00 ブルターニュの歴史的ツバキ・コレクションの見学に向けて出発
- 12:00 昼食（参加費を含む）
- 15:30 ナントに到着

プログラムは変更されることもあり得る、飲料費は参加費に含まれない。

コンGRES（本大会）

2018年3月25～29日

フランス・ナント市

3月25日（日曜日）

- 15:30 プレ・コンGRES・ツアーからナント市に到着
ホテルへ移動
ナント植物園に於けるツバキ展の見学の可能性あり
- 16:00 大会参加登録（18:30まで）
- 19:00 市公会堂に於けるナント市招待の歓迎式典（カクテルパーティ）

3月26日（月曜日）

- 08:45 ナント市イベント・センター（大会会場）に向けて出発

- 09 : 30 ICS 会長およびナント市市長、ジョハンナ・ロランドあるいは代理の歓迎挨拶
- 10 : 00 セッション：歴史と生物多様性
- 10 : 30 コーヒー・ブレイク
- 11 : 00 セッション：歴史と生物多様性
- 12 : 30 昼食（参加費に含む）
- 14 : 00 見学に出発
- 14 : 30 ナント植物園「Jardin des plantes」あるいはブルターニュ公爵の城およびその水鏡の見学
- 16 : 00 機械の島とその雄大な象 (Machines de l'Île and its majestic elephant) の見学：
以前の造船所に於ける、ジュール・ベルヌの「発明された世界」の十字路口に於ける無比の芸術的プロジェクト、レオナルド・ダ・ビンチの機械の宇宙、およびナントの工業の歴史
- 19 : 00 夕食（参加費に含まれる）

3月27日（火曜日）

- 08 : 00 ナント市イベントセンターに向けて出発
- 09 : 00 セッション：植物コレクションの発展
- 10 : 30 コーヒー・ブレイク
- 11 : 00 セッション：植物コレクションの発展
- 12 : 30 昼食（参加費に含まれる）
- 14 : 00 見学に出発
- 14 : 30 グループ毎にグラン・ブロテロー（Grand Blottereau）公園見学
- 16 : 00 ジョエル・ルメトル（Joël Lemaitre）養樹園訪問
- 17 : 30 バルデルドル（Val d'Eldre）養樹園訪問
- 20 : 00 バルデルドル養樹園招待の夕食

3月28日（水曜日）

- 08 : 00 ナント市イベントセンターに向けて出発
- 09 : 00 セッション：派生した産物（茶...）など
- 10 : 30 コーヒー・ブレイクおよび茶の試飲
- 11 : 00 セッション：文化と観光
- 12 : 30 昼食（参加費に含まれる）
- 14 : 00 公園訪問に出発
 - 公園墓地植物園（Parc Cemetery Arboretum）
 - デ・ラ・ゴードィニエール公園（Parc de la Gaudinière）
 - デ・プロセ公園（Parc de Procé）
- 19 : 00 ホテルに帰着
- 19 : 30 サヨナラ・パーティに向け、ホテルを出発

20:00 ブルターニュ公爵城でナント市招待のサヨナラ・パーティ

3月29日(木曜日)

朝食、大会の終了

プログラムは変更されることもあり得る、飲料費は参加費に含まれない。

ポスト・ kongress ・ ツアー

2018年3月29日～4月3日

ノルマンディ→パリあるいはフランス南西部→パリの選択

ノルマンディ

3月29日(木曜日) ナント→サン・マロ→モン・サン・ミッシェル

07:30 ポスト・kongress ・ ツアー (ノルマンディ) に向けて出発

10:30 壁で囲まれた町、サン・マロ (海賊船の町) 訪問

12:30 サン・マロで昼食 (参加費に含まれる)

14:30 サン・コロに向け出発

15:30 ビル・バグ・マルイニエール (Ville Bague Malouinière) (1710年に建てられた私掠船と海賊船の家) 訪問、

モン・サン・ミッセルに向かい、途中でドイツ戦争墓地に立ち寄る

19:00 モン・サン・ミッセルに到着、ホテルに移動

19:30 夕食 (参加費に含まれる)

21:00 モン・サン・ミッセルでのガイド付き見学のためバス移動

3月30日(金曜日) モン・サン・ミッセル→D-day 上陸海岸→バイユー (Bayeux)

07:30 モン・サン・ミッセルの美しい展望のアブランシュ (Avranches) 植物園に向けて出発

11:15 1944年6月6日 (D-day) の記念式典に合わせて最初に建てられたアロマンシュ (Arromanches) 博物館訪問

12:30 アロマンシュで昼食 (参加費に含まれる)

14:30 D-day 上陸海岸ツアー: アロマンシュ築港、オマハ海岸、デュ・オク (du Hoc) 岬 (崖)、サン・ローレン (Saint-Laurent) 米国戦争墓地

18:30 バイユー (Bayeux) のホテルへ移動

19:00 夕食 (参加費に含まれる)

3月31日(土曜日) バイユー→カーン→オンフルール→パリ

09:00 カーン (Caen) 方面へ出発

10:15 ウィリアム一世により創られた男性修道院訪問 (自弁)

12:30 オンフルール (Honfleur) で昼食 (参加費に含まれる)

- 14 : 30 オンフルのガイド付きツアー
- 17 : 00 パリに向け出発
- 19 : 30 ホテルに移送、夕刻は自由行動

あるいは

フランス南西部

3月29日（木曜日） ナント→コニャック→ボルドー

- 07 : 00 コニャック（Cognac）に向けてナントを出発
- 10 : 00 コニャックの「カミュ」館を訪問
- 12 : 30 コニャックの「カミュ」館で昼食（参加費に含まれる）
- 15 : 00 シャトー・スミス・ラフィット・ボルドー・ブドウ園（Chateau Smith Haut Lafitte Bordeaux Vineyards）訪問に向けて出発、
食堂楽の夕食（参加費に含まれる）
- 22 : 30 ホテルに移動

3月30日（金曜日） ボルドー→ゴジャック→ビアリッツ

- 07 : 30 ランド（Landes）の森を通過してゴジャック（Gaujacq）に向けて出発
- 10 : 00 トービー氏およびその娘による植物ガーデンセンターのガイド付きツアー
- 12 : 30 現地でベジタリアンの昼食（参加費に含まれる）、その一つの料理はツバキの花を使用
- 14 : 30 国家森林局科学部研究部長、エルブ・ル・ブール氏による講演
- 16 : 00 大西洋岸のバスク地区の海岸都市、ビアリッツ（Biarritz）に向けて出発
- 19 : 30 ホテルに到着、夕刻は自由行動

3月31日（土曜日） ビアリッツ→バヨンヌ→ビアリッツ→パリ

- 08 : 30 7ヘクタールのガーデンセンターで多数の珍しい樹木を有するポール・マイヨ・ドメーヌ（1880年創立）に向けて出発
- 12 : 30 昼食は、バスク地方の生産者組合の方達と現地で会食（参加費に含まれる）
- 14 : 30 ビアリッツ空港に向けて出発、パリへのフライトは参加費に含まれる。

プログラムは変更されることもあり得る、飲料費は参加費に含まれない。

パリで

4月1日（日曜日） ベルサイユ→パリ

- 09 : 00 ベルサイユ宮殿に向けて出発
- 10 : 00 王と女王の部屋、鏡の間等のガイド付きツアー
- 12 : 00 昼食（参加費に含まれる）
- 13 : 00 トリアノン（Trianon）庭園の訪問

- 14 : 30 ベルサイユからパリに向けて出発
- 15 : 30 クロード・モネの有名な「水蓮」、ジャン・ワルテルおよびポール・ギロームのコレクションのあるオランジェリー博物館（印象派及び印象派後の作品展示）を訪問
- 17 : 30 ホテルへ移動、夕刻は自由行動

4月2日（月曜日） パリ

- 09 : 30 パリでガイド付き訪問（現代及び歴史的）、「グラン・ブールバール」、オペラ座、バンドーム広場、コンコルド広場、シャンゼリゼ、エッフェル塔、アンバリド、デファンス門 等々
- 12 : 00 昼食（参加費に含まれる）
- 14 : 30 アルベール・カーン庭園のガイド付き訪問：4ヘクタールの庭園には20世紀初頭の各種の庭園芸術が見られる：果樹とバラ園のあるフランス式庭園、芝生、人工の岩およびコテージのあるイギリス式庭園、野生の草原に囲まれた青いアトラス・シーダーおよびアメリカハリモミの森、日本の村、およびフランス・ボージュ県の山々の模造
見学対象は変更されることもあり得る—博物館は改修中
- 16 : 30 バガテル植物園の見学、同園は18世紀にマリー・アントワネット王妃により建設された
- 18 : 30 ホテルに移動、夕刻は自由行動

4月3日（火曜日） パリ

- 朝食
- ポストコングレスツアーの終了

プログラムは変更されることもあり得る、
飲料費は参加費に含まれない。

ナントおよびその他の見所

グラン・ブラトロー公園（PARC DU GRAND BLOTTEREAU）（ナント）

植物の圃場、ツバキ・コレクションおよび熱帯温室がある37.5ヘクタールの敷地に設けられた9ヘクタールの公園。建築家、セレヌの手になる18世紀の大邸宅の対面にある景観公園にはエキゾチックな植物の温室コレクション—フランスでもユニークなもの—、フランス式庭園、地中海風の岩石の庭園およびバナナの木がある。

墓地植物園（PARC CEMETERY ARBORETUM）（ナント）

一般の植物園のように作られていて、驚異的な植物原種のコレクション、1万1千本以上の樹木、素晴らしいツバキのコレクションがある50ヘクタールの公園。

デ・ラ・グラディニエレ公園 (PARC DE LA GRADINIÈRE) (ナント)

美しい山岳景観公園(12ヘクタール)。この高級な、植樹された公園には数百年の樹齢の栗の木と樅の木が19世紀に導入されたエキゾチックな木の側に聳えている。

デュ・プロセ公園 (PARC DU PROCÉ) (ナント)

イギリス風景式公園(12ヘクタール)。1866年にドミニク・ノアセットにより設計され、ここには色々な見所がある。その彫刻遺産はナントの歴史を物語る。ここに注目すべき樹木が植えられて来た。オオシュウナナカマド、アトラス杉、セコイヤなど、幾つかは数百年の樹齢である。領主邸宅は1789年に建設された。その正面にバージニア・ユリノキがある。この木はフランス最古の木で、その大きさは合衆国の南東部に生える木と大差がない。春にこの公園はツツジとツバキで美しく飾られている。

カンペール (QUIMPER) (ブルターニュ)、“ブルターニュ文化の中心都市”

「芸術と歴史の町」、カンペールはその大聖堂で知られている。大聖堂はブルターニュに於けるゴシック形式の宗教建築の最良の例である。大聖堂の西方には雰囲気にも富む古い町がある。ここには14世紀からの半木造の家々を見ることが出来る。丸石で舗装された街路には古い職業の名前が付けられている。バターが売られていたプラスオブル (Place au Beurre) はカンペールの最も綺麗な場所の一つである。

オンフルール (HONFLEUR) (ノルマンディ)

ビュー・バサン (絵のような狭い家々で囲まれた古いバサン)、リュールナンス、ファーブル・サントゥ・カトリーヌ (海で仕切られた船員のエリア)、アंकロ・エリア (以前の中世の要塞の中心部)、グルニエラ・セル (塩の倉庫)。

植物ガーデンセンター (BOTANICAL GARDEN CENTRE) (ゴジャック (Gaujacq), 南西フランス)

訪問は先ず、ヨーロッパでも最大のツバキ・コレクションを持つ「ラ・カメレライエ」(La Cameleraie) で始まり、次に庭園温室専用に建設された「プランタリウム」に移動する。ここは、植物園の植物を増殖するための順応実験、補水および繁殖のための施設である。ボタニカル・コンサート：ボタニカル・コンサートとは科学的なプレゼンテーションと植物が発する音によるコンサートの組み合わせでフランスだけにあるユニークなものである。